

学生各位

石巻専修大学 生成 AI (ChatGPT など) の利活用に関する指針

学長 尾池 守

ChatGPT などの生成 AI が世界中で急速に普及する中、その利用と規制を巡って国や地域、団体ごとに対応が異なっており、国際的な合意形成の必要性が議論されています。日本でも、教育現場への導入についてガイドラインが策定される方針ですが、ここでは、現時点の本学における指針と注意点についてお知らせします。

基本方針

本学では基本的に生成 AI の使用を禁止しません。ただし、その出力結果には虚偽が含まれることや著作権を侵害する恐れがあることを十分認識してください。したがって、無条件に受け入れるのではなく、批判的思考によってその内容を精査することが大切です。本学では、リスクを認識して生成 AI を利活用することを一つのリテラシーとして捉えることとします。

具体的な使用

レポートや課題、プログラミング等の学修において生成 AI を利用する際は、その使用の範囲・程度について、各授業科目担当教員の指示に従ってください。

生成 AI を利活用する際の注意事項

1 生成 AI のみを用いて論文やレポート等を作成しないこと

生成 AI の出力をそのままレポートなどの成果物に用いた場合や、AI が生成した文章に著作物の内容がそのまま含まれていて気づかなかつた場合、意図せずとも剽窃行為につながる極めて重大な問題を引き起こす危険性がありますので、注意しましょう。

2 思考力や主体性を育む機会を自ら失わないようにすること

大学の授業は、レポートや課題を通じて、データ・情報収集法や調査法などを学ぶこと、また、文章構成能力、論理的な考察力を高めることも目的としています。安易に生成 AI を利用することで学びの機会を失うことのないように注意しましょう。

3 個人情報や機密情報等の流出・漏洩に注意すること

生成 AI への入力を通じ、個人情報や機密情報が意図せず流出・漏洩する可能性があるため、プライバシーに関する情報は安易に生成 AI に入力しないようにしましょう。

4 生成 AI が出力する情報を鵜呑みにせず自分で確認し裏付けをとること

生成 AI の出力する情報は、出典が明らかではなく、虚偽が含まれていることや、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。情報収集で利用する場合でも、出力された内容が正確な情報か自分で確認するようにしましょう。

なお、今後、関係省庁によるガイドライン等が示された場合は、上記事項を更新する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。